



たらぎ議会だより

たらぎま

No.107

熊本県多良木町議会発行
平成30年2月1日

12月 定例会議

年頭挨拶

p2

民営化へ第一歩

p2~p3

9人が問う

p5~p13

大人への旅立ち「はい、ポーズ！」

第一步 可決

平成29年度12月定例会議は5日から14日までとし、条例等5件・補正予算6件・発議1件を審議し可決した。一般質問は9人の議員が執行部の考え方を質した。

新年明けましておめでとうございります。輝かしい新春を迎えて、町民の皆様に議会を代表して、心よりお慶びを申し上げます。

皆様方には、日頃より議会に対しまして温かい御支援と御協力を賜り、心から感謝申し上げます。さて、昨年を振り返ってみると、2月に町長選挙が行われ、吉瀬町長が誕生し、新しい町政がスタートしました。

人口減少が深刻な中、町長の今後の方針を示すために、議会では、議員の皆様が積極的に意見を述べ、議論がなされており、皆さんの声を的確に町政に反映させることができたと考えております。



妙見野から 初春の雲海



議長年頭あいさつ

議長 村山昇

良かつたと実感し、多くの人達が本町にぜひ住みたいと思わせる町づくりにどう取り組んでいくのか、という事が、町長と議会に課せられた大きなテーマだと考えております。

そのために議会は、これからも皆様と共に取り組む決意であります。

今年の干支は戌（いぬ）年でございます。いろいろな臭いを嗅ぎ分ける犬のように、目標達成のために最善の方法を嗅ぎ分けて、躍進の年にできればと思います。

本年が皆様方にとりましても幸せ多い年でありますようお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

後の政策のあり方が町の持続発展を左右する重要な政策転換期となるため、議会においても活発な議論がなされており、皆さんの声を的確に町政に反映させることが議会の責務であると考えております。

平成30年度で閉校する多良木高校跡地利活用問題や地方創生事業の今後の展開、子育て支援、さらには高齢化を中心とした福祉対策など、これから克服すべき課題は山積しております。

町民の皆様が、この町に住んでいます。

第1・第3保育所「民営化」へ ～町立保育所の土地・建物 無償貸与～



餅つき「ヨイショ」

平成30年4月より町立第1・第3保育所が社会福祉協議会へ移管・「民営化」に伴い、その土地・建物等を無償貸与することとした。

一般会計補正

(千円切り捨て)

職員給与改定に伴う増額	1,207万円
スマートIC整備促進協議会負担金	1,088万円
えびすの湯 光熱費	222万円
地方バス路線維持費補助	73万円
古民家活用調査謝礼	66万円
県後期高齢者広域連合医療給付費負担金	319万円
放課後児童対策事業委託料	654万円
第3保育所 修繕費	158万円
攻めの園芸生産対策事業補助	249万円
ふるさと納税謝礼	186万円
林道榎木南線 舗装補修工事	650万円
住宅リフォーム・空家空店舗等活用事業補助	400万円

2つの条例改正

- ① 町職員等の「給与改定」に伴い条例の改正をした。また、職員の「育児休業」等に関する条例の改正。
- ② 町営口の坪・小田住宅の一部を取り壊すことに伴いその戸数の変更を行う条例の改正。

専決処分報告

10月22日の衆議院選挙に伴いその経費を専決処分した。

※ 専決処分とは

本来議会の議決を経なければならない事柄について町長が地方自治法に基づき自ら処理すること。

その他の一般質問

魚住憲一議員

- ・道路改良工事について
- ・楓木診療所について

坂口幸法議員

- ・教育行政全般について
- ・生ゴミ回収事業と資源ゴミ用リサイクル事業について

豊永好人議員

- ・行政区統廃合について
- ・町長の公約について

高橋裕子議員

- ・直面する教育施策の進捗

瀬崎哲弘議員

- ・施政方針の実践について
- ・旧白濱旅館開業による現在までの成果について
- ・景観条例の提案、その後の動きは
- ・平成30年の予算要求に対する各課の考えは

久保田武治議員

- ・子どもの貧困について
- ・農業機械補助事業について



特別会計補正

(千円切り捨て)

国民健康保険

2,356万円追加 ----- 15億7,100万円

久米財産区

153万円追加 ----- 1,136万円

下水道事業

176万円追加 ----- 3億1,386万円

介護保険

584万円追加 ----- 15億4,754万円

上水道事業

給与改定に伴い給料・手当等
----- 55万円を追加

要 望 書

区分	件名	提出者	結果
要望書	排水対策における排水路整備実施要望	黒肥地5区 益田道則 外10名	継続
要望書	「若い人も高齢者も安心できる年金制度」を 国の責任で創設するための意見書の要請	全日本年金者 組合 人吉球磨 支部長	議員 配布

定期監査報告

予算の執行については適正に行われていた。
また、契約事務も違法な点は見受けられない。

物品・備品管理は出納計算書の未登録があり、
財務規則に基づき全課統一した処理を検討すべき
である。

各課等の詳細な監査内容は個別に協議・指導を行った。

中村正徳



Q どのような町にしたいのか

A 人口減少の歯止めになる施策を

質問 第5次総合開発
計画が現在、後期基本
計画、5年（H28年）
H32年度）を策定し町
づくりに取り組んでい
るが、この期間に町長・
副町長・教育長は町を
どのようにしたいのか。

直しを早めに行い、若い世代が残り、また移住促進を図る仕組み、同時に高齢者を支える

※「テレワーク」とは
労働形態の一環

づくりに取り組んでいるが、この期間に町長・副町長・教育長は町をどのようにしたいのか。

「競争力を持った活力あ

て、「テレワーク」等といつた具体的な記述・仕事のありようを提示したい。時代は進んでいるので内部での見

る行政主体であると認識している。町長の施政方針をバックアップしていくことが私の仕事であり、それぞれの問題について、課題を整理して取り組んでいくたい。

質問 副町長はその職責として、喫緊の課題は何だと思われるか。

第5次総合開発実施計画書

Q 「生涯学習センター」は

A 協議を早急に

質問 生涯学習センター建設についての質問に町長は「箱物」行政と答弁されたが、私は「箱物」ではないと思う。実施計画において約10億円で計画されていたが現在何も進んでいない。センター建設については、社会教育・防災拠点機能も含めた複合施設として、再度検討される考えはないのか。

卷之三

Q

A 活きるちから・育むちから・想うちから

۱۰۷

畠長 「活きる。だから」
町が元気になつていける
活性化の活・「育む」
から「教育の育・「想う
ちから」 地域を想う、
この3点を考えている。

質問 前町長はこれまで「健康で明るく、住みよい、誇りの持てる町づくり」を掲げて町づくりを進めてきたが、今後吉瀬カラーフレーズは何か。

魚住憲一



Q 木質ボイラー設置後の光熱費は

A H29年は約260万円の節電

となっている。木質バ
イオに切り替えた28年
度は前年度より500万円
程の節電になった。29年
は3月より2カ月程
機械の不具合が生じ、
予想より経費の削減に
ならず260万円程の節電
になっている。地方創
生事業の一つ、薪の生



心配される木質ボイラー

質問 観光地域づくり・農泊推進において民間業者との取り組みは。

岡本企画観光課長 歴史的価値のある建築物を宿泊施設や飲食施設などに活用すること

で観光振興・町活性化・雇用・交流人口増加につなげていければと思ってている。民間業者・町・金融機関等で協議会をまず設立し、民間主導型で国の補助事業を活用していくの

が望ましく、専門的な立場から計画づくりに協力してもらいたい。Rするために行政として応援していきたい。

入館者数	約延べ60,000人弱
入館者月平均	約延べ7,500人
収入	約1,400万円
支出	人件費 約1,300万円 水道高熱費 約2,000万円 その他 約400万円
赤字	約2,200万円

今井町民福祉課長
29年は11月末現在

質問 えびすの湯の木質ボイラーへの切り替え後の光熱費の推移と検証は。

質問 えびすの湯、ブルートレインと組み合わせ、指定管理者に出す考えはないか。

町長 今のところ考えていないが、将来は何らかの策を考えていきたい。

Q 「民間主導型」で農泊推進の取り組みは

Q 施設利活用対策は
A 引き続き検討・交渉中

質問 多良木高校の施設利活用の対策は。

町長 県との協議の中でも中学校の移転を要望している。また大学に対する回答では「サテライト型誘致」も相談してきたが、どこの大学も難しいとの回答であった。施設跡地の維持管理は町単独では無理であると認識しているので県との交渉の中で、財政面を含め交渉していくたい。



県との交渉のゆくえは・・・

宇佐信行



今後の拡充策として、ネットで全国展開していく大きなポータルサイトに乗り換えて、人気商品等の分析をし、返礼品を充実させ納税額を増やしていきたい。

久保農林課長 自伐型
林業への取り組みについては、具体的に山林

の所有、集約提供について本町では国土調査事業も継続中であることからまだハードルが高いのかなと考えている。しかし全国的に森林の荒廃も進んでおり、今後導入される森林環



自伐型の政策を

件 数	746件
金 額	1,367万円
前年対比	440件増 850万円増
1万円に対する返礼率	送料込みで 5,000円以内

松本総務課長 ふるさと納税について、12月1日現在で



期待される「ふるさと納税」

Q 自伐型林業の推進は企業誘致として検討

質問 総合戦略事業を効率的、速やかに推進するためには、従来の縦割り組織を打破して、各課長が協議して検討協議している。30年度は保育所も移管されるので、機構改革については各課と協議しながら取り組んでいきたい。

森林税を生かした新たな森林管理制度が検討されているので、地域性を生かした企業誘致の一つとしても検討課題として考えていく。

町長 企業誘致の一環、

地場産業振興、担い手の育成等、現在作業されているグループの方との意見交換等担当課と協議検討していく。

質問 槩木地区の支援策として、診療所を元支援員住宅へ移すことで、進捗状況は。



老朽化した診療所

Q 槩木の診療所の移転計画は

質問 ふるさと納税の現状と返礼率、また納税者の分析をされていいのか。今後の拡充についての具体策は。

行政ではなく横断的にも展開できるように機構改革をすべきではないか。

町長 総務・農林・教

育委員会・企画の4課が中心となって情報を共有しながら月1回府内でしごと創生機構、

各課長一同に会して検討協議している。30年度は保育所も移管され

るので、機構改革につい

ては各課と協議しながら取り組んでいきたい。

町長 老朽化と災害警戒区域に位置しているため、早急な移転が望ましいと考えている。

12月に関係者と現地調査・確認をしてきた。

早期に診療機能を移転したい。

A 早急に移転したい

質問 ふるさと納税の現状と返礼率、また納税者の分析をされていいのか。今後の拡充についての具体策は。

現状と返礼率、また納

税者の分析をされてい

るのか。今後の拡充に

ついての具体策は。

現状と返礼率、また納

税者の分析をされてい

るのか。今後の拡充に

ついての具体策は。

源嶋 たまみ



岡本企画観光課長

原材料になる野菜の種類等については、アドバイザーが視察しているが、まだJAや生産農家との協議はないようだ。

質問 薪の製造を、林業者の雨の日の作業にといつては、JAや生産農家のリサーチを行なったのか。

宮ヶ野小学校で、四種類のドレッシングを作る計画だが、野菜についてJAとの協議や野菜を出荷している農家のリサーチをされたのか。

久保農林課長 薪の生産は林研クラブを中心と考えているが、生産量とクラブ員の稼働日数を勘案した時、年間で生産量は計画量に届くには難しい状況である。

質問 茅はどこにどれ位栽培することになったのか。

久保農林課長 茅については、28年度土質調査をし、29年度中に概木地区に24アールの遊休農地に試験栽培を行い茅の生育状況を見ない。がら生産をしていきた

Q 高齢者の見守りは

A 見守り体制の構築

質問 他町村における独居老人の見守り対策と本町における対策案は。

東健康・保険課長 人吉・球磨では徘徊SOSネットワークがあるが、事前登録者への

情報提供となる。本町では認知症等での徘徊が見られる高齢者等を地域住民や民間事業者等による見守り体制の構築をし、高齢者やその家族の不安解消を目指している。

松本総務課長 選挙の啓発は防災無線・広報・広報車での投票の呼びかけを行っている。

質問 高齢化が進み、独居老人が投票に行けない状態がくると思う。投票率低下への対策は。

高齢者の対応は無料送迎バスで、投票所や期日前投票所等への送迎を実施した事例もあり、本町で出来る内容があれば取り組みたい。

Q 高齢者の投票対策は

A 無料送迎等も検討

Q 生涯学習センターは

A 決まっていない

質問 9月議会で、12月議会までにはなんらかの説明が出来るようになりたい」といわれていたが、構想はできた

議会を開いていないのでセンターの場所等は決まっていない。報告できないことについてお詫びする。旧白濱旅館との連動制は、センターコンセプトは、



センター構想は・・・

坂口幸法



施設利用検討委員会」等の設置はできないか。

住民からも、様々な会合の場で提案を受けていいるので、それらを大いに参考にしたい。

考えていく。また行政の手続きを着実に踏んでいきたい。情報を公開となると議会との合意が得られた段階で選択肢の一つとして公表するとの形になると考

てジビ工研究会を選定

期待されるジビエ料理

たらぎ議会だより 第107号／9

A 高校施設利活用は 中学校移転を

質問 高校の施設利用について、県との協議中のことであつたが、現在の進捗状況と中学校移転ありきで話は進んでいると思われるが、町教育委員会・

が、9月議会において
中学校の移転をお願い
したいと申し上げた。
県にも伝えてあるが、
中学校移転はまだ教育
委員会では決まってい
ないので、今後教育委

PTA・町民の方々

町長 PTAや住民の

いいのかということだ

町長 情報公開は「住民の代表の議会」に相談し、一定の了解を得

考へておる。また行政の手続きを着実に踏んでいきたい。情報を公開となると議会との合意が得られた段階で選択肢の一つとして公表するとの形になると考へ

質問 島曾被言院・物別措置法改正法が昨年12月公布施行された。改正法では捕獲した島獸の食品としての利用などが明記され、野性鳥獸の肉(ジビエ)振興に向けて大きく動き始めている。本町の取り組み状況と今後は。

販売形態を小さくし売
りやすいタイプに移行
した事例もある。今後
食肉業者、飲食店組合
へも相談をしていけれ
ばと考えている。

質問 次年度で閉校に

Q ジビエ振興は

の後の利活用について
は時間的余裕がないと
思われる。いつ頃まで
に結論を出し、どのよ
うな計画性を持つて進

質問　鳥嘗被宣防上特
別措置法改正法が昨年
12月公布施行された。

販売形態を小さくし売
りやすいタイプに移行
した事例もある。今後
食肉業者、飲食店組合
へも相談をしていけれ
ばと考えている。

A 収入増に期待

Q 高校施設利活用は

なる高校であるが、そ

豊 永 好 人



Q えびすの湯の経常収支は

A 約2,200万円の赤字



大きな赤字が続くえびすの湯

この報告は上がっていないが、教師自身が毎日子どもと一緒に生活をしているので、「人権感覚」「感性」「観察眼」を磨くことが重要と考えている。朝の会で、子ども達の健康観察を必ず実施しているし、表情から色々と気付く場合もある。

質問 ふれあい交流センターえびすの湯について本年11月末までの経常収支を伺いたい。

り赤字でも続けていかなくてはいけないと考えている。しかしその「許容」を超えている赤字が現在も続いている状況であり、将来的には住民に相談をし解決の方法を探していくかなければならないと考えている。

佐藤教育長

現在のところ、本町での小・中学校でのいじめ等はない。

収支面では、収入額が1千480万円・支出額が約3千700万円で差し引き約2千200万円の赤字である。
町長 利用者がいる限り赤字でも続けていかなくてはいけないと考えている。しかしその「許容」を超えている赤字が現在も続いている状況であり、将来的には住民に相談をし解決の方法を探していくかなければならないと考えている。

今井町民福祉課長

Q いじめ対策は

A 教師の観察眼で

質問 農業振興についての担い手対策は。

新規就農者の補助や、担い手対策に力を入れ、JAと連携しながら支援を行いたい。

町長 「広域農場の法人化」を進めており、農地を守る大切な担い手となりうる組織として

Q 農業振興と担い手対策は力を入れたい

て期待をしている。

Q 農機具の補助は

A 充分検討

質問 一般農機具の補助について、平成30年度に予算化できないか。

るし、30年度予算に上げられるか、他の予算を考慮しながら検討し

町長 過去に3年間実

施をし、現在は補助はしていない。他町村では単独補助を行ってい



期待される農機具補助



がんばれ～若手酪農家

瀬崎哲弘



**Q 行政区の統合は
A 積極的に関わる**



住民の自主性に期待

質問 人口減の中、住民自治にも支障が出てきている。このままで良いのか。区の統合は、区から手を挙げるのを待つという行政区任せではなく、町づくりの観点で進めるべきでは。

松本総務課長 少子高齢化で、行政区の規模による格差が生じている。これまで行政区の統廃合は必要になるとの説明を行ってきた。統合の相談もあつたが結果として実現しなかつた。

町長 区それぞれの自主性に任せた方がいいと思っているが、町づくりの観点から言えば行政区は少ない方がメリットが大きい。強制ではないが、町として積極的に関わっていくことが必要だと思う。

質問 難題山積の中、職員の定数が減り業務にも限界がある。民間から経験や知識を身につけた人材をプロデューサー（プランナー）として、任期付き職員に採用することでき職員に採用することで、行政効果や効率を上げることができるのではないか。

**Q 民間からの採用は
A 人材がいれば検討したい**

松本総務課長 業務に民間の経験と知識を持った人材を活用する事は有効な手段である。基本的に特定任期付職員が5年以内、一般任期付職員が3年以内となっている。

町長 民間に人材を求める場合は、どういう人をどれくらいの報酬で選任するかと、いうことが重要である。県庁出身の副町長がこれまでの経験や知識を活かしてプランナー的役割を果たしており、民間からも適切な人材があれば検討したい。

松本総務課長 行政区を対象とした事業として、社会福祉協議会が行っているいきいきサ

ロコンがある。一地区2事業の交付金を交付している。



地域作りの手助けを

**Q 地域コミュニティづくりの支援は
A 様々な方法で助成**

質問 地域の自治、地域コミュニティは、そこで生活する住民が知恵や汗を流すことにより担い、そのことを通じて行政の手助けができると思う。例えば仮称「地元応援隊」なるものを住民グループで立ち上げ、様々な意見やアイデアなどを気軽に町（行政）に話せるような仕組みができるないか。

A 様々な方法で助成

A black and white portrait of Kuniyoshi Kubota, a man wearing glasses and a suit, looking slightly to the right.

佐藤教育長 多くの子どもが参画できる交流事業が望ましい。

質問 「都道府県化」による保険料の引き上げが懸念されているが、どのようないか。

東健康・保険課長



Q 姉妹町との交流は

A 関係課で検討

質問 南幌町との児童
交流については町民から様々な疑問や指摘がなされている。問題点として①事業に参加できる児童が10名に限定され、自宅での受け入れができない児童は参加申し込みにくい②選考に苦慮している③事業の効果が検証しにくいなどがある。今のやり方を続けるのか。
町長 指摘された問題点を含め、見直す時期との認識はある。

質問	南幌町との児童交流については町民から様々な疑問や指摘がなされている。問題点として①事業に参加できる児童が10名に限られる、自宅での受け入れができない児童は参加しにくい②選考に苦慮している③事業の効果が検証しにくいなどがある。今のやり方を続けるのか。	質問	外部評価委員会でも公平性に欠ける事業で、代替案による見直しや廃止の方向で検討すべきとの評価だがご承知か。
町長	指摘された問題点を含め、見直す時期との認識はある。	佐藤教育長	事業にはいろいろな課題があるとの認識は持っている。事業には、評価の内容は承知しているが、協議はしていない。

質問 ネットや作文など学級・学校ぐるみでの交流・民間レベルでの人との交流・文化交流など様々な事業を検討したらどうか。

Q 国保料引き下げは

A 実績を見て検討

町長 指摘された問題点を含め、見直す時期との認識はある。

町長 指摘された問題点を含め、見直す時期との認識はある。

見直しの必要は

質問 介護保険料見直しにより、現在県内2番目に高い保険料が試算では月額442円上がるることになる。値上げは高齢・年金生活者の生活を脅かすのではない。

の問題もある。これ以上は上がつてほしくないとの思いは重々持つている。

A cartoon illustration of a man in a dark suit and tie holding a light-colored briefcase. He is looking towards the right side of the frame. A speech bubble originates from a woman's head on the right, containing Japanese text.



Q 介護保険料の引き上げは

A 検討を要する

質問
傾向から、今の保険料
が高すぎるのであれば
引き下げるべきではな
いか。

質問 29年度見込みや傾向から、今の保険料が高すぎるのであれば
町長 上からないほう
が良いとの思いはある
が、数字が出てから検

町長 上からないほう
が良いとの思いはある
が、数字が出てから検
討したい。



豆

ち

し

き

「そぎゃん減っとナー」



多良男

いよいよ平成も30年になったナー。

え、おいどんが時やーまだ多かった気のすっよ。

はー、そぎゃん減っとナー、そしこナーニー
今からどぎゃんなつとな。

本当ナー、年の初めに「成人式」があつて、今年は108人やつたげな。

去年は町で赤ちゃんが40人ぐらいい
しか生まれんやつたとばい。

人口も昭和30年がピークで2万人こえとつたばつてんか、
今は1万人きつたばい。10年後にや6千人、そして
40年後頃にや4千人になって予想されとつたばい。

あらー、こらー多良木だけじゃーなかよナー。

生んでくれやる若っかもんが少なかもんナー。

おいも今年にひやーてから葬式の
3回あつたもん。

どぎゃん事ばしやつと?

幼児教育無料化やらすって、
新聞に書いてあつた。

こらー全国的な規模で「少子化」
の進んどつたばい。

また、高齢化は39パーセントぐらいで、
死んやる人も多なつたとたい。

今から日本全国でそぎゃんなつで、
そん対策は国でも考えやつとたい。

経済規模の縮小やら社会保障制度の
不安で約2兆円ば見込んでますつたばい。

今から人口減少・超高齢化社会ば前提として町の在り方ば考えてまた、働くもん
が減っていくで持続的な社会保障ばすつためにどぎゃん事ばすれば良かか、
こん田舎で本当ん意味での地方の創生が出来るか真価が問われとつたばい。

おいどん町民ひとりひとりも考えんばんナー。



球磨雄

新年あけましておめでとうござい
ます。

平成の世もあと一年余りとなりま
した。新しい元号も今検討中であろ
うかと思います。

「光陰矢の如し」で月日の経つのは

本当に早いものですね。今号12月の

定例議会の一般質問・審議内容・町

政の動き等「わかりやすい議会だより」

をという事で取り組みましたが如何

でしようか。

平和で明るく元気な地域作りは皆
の願いです。過疎・高齢で疲弊して
いく人吉球磨を、近隣市町村共協力
しながら「安心して住み続けられる町」
として支えていかなければと考えて
います。

町民の皆様にはぜひこの「議会だよ
り」を熟読し町政にもつと関心を持つ
て頂き、それぞれの立場で知恵を出
し合い、ご意見を寄せて頂ければと
思います。ご協力の程よろしくお願
い致します。

文責 宇佐 信行

広報特別委員会構成

○◎
林 高山 中 橋

俊 裕 葵 孝

豊 宇 佐 武

好 信 行 人

編集後記